

病 院 救 急 車 一 式  
仕 様 書

令和6年4月  
国立大学法人琉球大学

## I. 仕様書概要

### (1) 調達背景及び目的

特定機能病院として医療機能を十分に発揮するための転院搬送体制構築及び災害医療体制の構築を図る観点から、下記について対応するため救急車を導入する。

- 患者搬送をするため
  - ・ 他院への転院搬送
- 現場に医師等を派遣するため
  - ・ 救急車に医師や看護師等の医療スタッフを同乗させて救急現場に赴き救命率を高める。
  - ・ 災害医療への対応
  - ・ DMAT を災害現場へ派遣

### (2) 調達物品及び構成内訳

病院救急車 一式

(構成内訳)

1) 救急車 本体 1台

#### 2) 車両装備

2-1)	装備：カーナビシステム・ドライブレコーダー・ETC 車載器	1 式
2-2)	フロント散光式赤色蛍光灯	1 式
2-3)	前部・後部赤色点滅灯	1 式
2-4)	バックドア下部補助赤色灯	1 式
2-5)	路肩灯	1 式
2-6)	電子サイレンアンプ	1 式
2-7)	前部グリル内スピーカー	1 式
2-8)	フレキシブルマイク	1 式
2-9)	インバータ 1500W	1 式
2-10)	サブバッテリー収納庫	1 式
2-11)	外部入力コンセント	1 式
2-12)	患者室内灯 (LED 調光機能付き)	1 式
2-13)	AC100 コンセント 4 口	1 式
2-14)	換気扇	1 式
2-15)	すりガラス風フィルム	1 式
2-16)	患者室カーテン (スライド部、リア、バックドア)	1 式
2-17)	左ステップ部アルミ縞板	1 式
2-18)	リヤバンパープロテクター	1 式

2-19)	運転席・助手席ステップ縞板	1 式
2-20)	床ロンリューム	1 式
2-21)	左後部3人掛けシート	1 式
2-22)	左側前向きシート	1 式
2-23)	ストレッチャー前ドクターシート	1 式
2-24)	防振ベット	1 式
2-25)	ストレッチャーマット	1 式
2-26)	医療機器収納棚	1 式
2-27)	大型収納庫	1 式
2-28)	収納庫	1 式
2-29)	運転席仕切り板	1 式
2-30)	三方分割配管	1 式
2-31)	加湿流量計 オキシパック OX-ⅢS	1 式
2-32)	酸素アウトレット配管	1 式
2-33)	ホワイトボード設置	1 式
2-34)	患者室天井・収納庫上ネットシェルフ	1 式
2-35)	患者室天井部アシストグリップ	1 式
2-36)	バックドア左側大型グリップ	1 式
2-37)	3人掛けシート上部アシストグリップ	1 式
2-38)	アナログ時計	1 式
2-39)	赤帯ライン	1 式
2-40)	病院名ロゴマーク	1 式
2-41)	消火器、ごみ箱	1 式
2-42)	リーフ 2 枚	1 式
2-43)	車止め 2 個	1 式
2-44)	停止表示板	1 式
2-45)	承認図書作成	1 式

### 3) その他

3-1)	諸登録、申請関係	1 式
3-2)	保守	1 式
3-3)	保証	1 式
3-4)	引き渡し時説明及び説明書（マニュアル）等	1 式
3-5)	その他	1 式

以上の搬入、調整、据付、設置等を含む。

(3) 技術的要件の概要

- 1) 本調達物品に係る性能・機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は「II. 調達に備えるべき要件」に示すとおりである。
- 2) 技術的要件はすべて必須の要求要件である。
- 3) 必須の要求要件は本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札物品の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には、不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- 4) 入札物品の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、入札物品に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

(4) その他

1) 仕様に関する留意事項

- 1-1) 提案する車両は、入札時点で製品化されていることを原則とする。ただし、入札時点で製品化されていない物品で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。
- 1-2) 入札後、モデルチェンジ等の事由が発生した場合には、本学と協議のうえ、最新の機種を納入すること。
- 1-3) 入札物品に備えるべき技術的要件で示す「できること」、「有すること」、「可能であること」等の仕様については、納入時点において全て実現していること。

2) 提案に関する留意事項

- 2-1) 提案機器が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに具体的かつわかりやすく、資料等を添付し参照すべき箇所を明示する等して説明すること。（要求要件と提案機器に係る性能等を、対比表を作成して示すこと）。参照すべき箇所が、メーカーの仕様書、説明書、カタログ等である場合は、表中に参照資料番号を記入すると共に、資料中にアンダーラインを付したり、色付けしたり、余白に大きく矢印を付したりすることによって当該部分を明示すること。従って、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分で技術審査に重大な支障があると本学技術審査委員が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなす。
- 2-2) 提案された内容等について、問い合わせやヒアリングを行うことがある。
- 2-3) 提出資料等に関する照会先を明記すること。

## II. 調達に備えるべき要件

(性能・機能に関する要件)

### (1) 車両本体

1) 車両本体は、以下の要件を満たすこと。

1-1) ベースシャーシ：バン

(参考車種：トヨタ標準救急車 CBF-TRH221S-QFTDK)

(参考車種：ニッサンキャラバン NV350 2WD スーパーロングワイドルーフ)

1-2) 機関：ガソリン式 排気量 2500cc 2WD 低公害車

1-3) 車体制作寸法（次の寸法の範囲内とする）

車体全長：約 5,600mm、車体全幅：約 2,000mm、車体全高：約 2,600mm、

傷病室長：約 4,500mm、傷病室幅：約 1,750mm、傷病室高：約 1,850mm

1-4) 定員 7人以上（ストレッチャー含む）

1-5) 機械器具及び材料はすべて新品とし、JIS 規格若しくは同等の品質の物を使用する。

1-6) 車体はオールスチール製を原則とし、保安基準及び道路運送法等の諸規格に適合させる。

1-7) 設計に対する基本方針として、機能良好であることを原則とし、かつ、堅牢優美を加味したスタイリングとする。

### 2) 車体構造関係

2-1) 骨格は鋼板各種型鋼及び特殊折り曲げ材で組み立て、リベット、溶接等で固定する。

2-2) 外版は磨き鋼板張りとし、鋸締めまたは溶接等で固定する。天井内板張りは、車両メーカー標準品を基準とする。

### 3) 扉関連

3-1) 後部ドア解放部、下側に大型ステップリヤバンパーを設ける。(アルミ縞銅板貼り付け)

3-2) 左側のスライドドアに昇降用のステップを設ける。

3-3) 運転席、助手席にそれぞれ乗降扉を設ける。

3-4) スライドドア・後部ドアには半ドア防止の機能を設ける。

### 4) 窓関連

4-1) 前窓は上部ぼかし入りとする。

4-2) 後窓は固定窓とし、前面にくもりフィルムを貼り内部が外から不可視となる様にする。(ドライブレコーダー取り付けに際し、本学担当者と要調整)

4-3) 側窓は引違窓及び固定窓で、全面にくもりフィルム貼り内部が外から不可視となる様にする。

## 5) カーテン、床関連

- 5-1) 運転席、助手席を除く各窓にはオプションのカーテンを貼り付ける。
- 5-2) 床板は車両メーカー標準部材厚さとする。
- 5-3) 床上張りは車両メーカー標準部材の上張り仕上げとする。
- 5-4) 運転席廻り、および助手席廻りの足元には車両メーカー純正のフロアマットを敷く。
- 5-5) 座席、ストレッチャー用防振架台装置、棚、その他の重量品を固定するために有効な補強部材を床根太に取り付ける。

## (2) 車両装備

### 1) メインストレッチャー 防振架台

- 1-1) 患者室の右側付近に設置する。
- 1-2) 確実にメインストレッチャーを固定できる装置を設置すること。
- 1-3) 振動及び水平方向の加速度を減衰させる構造を有すること。
- 1-4) 水平方向の移動が可能な構造であること。
- 1-5) 防振機能を固定する防振ロック装置を有すること。
- 1-6) ストレッチャーは、最大許可荷重は、180kg 程度に対応できること。

### 2) 患者室内装備

- 2-1) 座席は横向き 2 人以上、後ろ向き 1 人、前向き 1 人等で 4 人以上に対応すること。  
シートベルト付。
- 2-2) 収納庫：木製又は金属製で開放防止ロック付
- 2-3) ルーフ換気扇取付
- 2-4) 照明：室内全体を明るく照らす、調光機能付き蛍光灯 LED 式
- 2-5) バックボード
- 2-6) ネットシェルフ
- 2-7) アシストグリップ：患者室左側ルーフサイドに取付
- 2-8) ダストボックス：樹脂製（上蓋足踏み開閉式）

### 3) 電源装置関連

- 3-1) AC100 電源用インバーター1500w（正弦波）装備すること。
- 3-2) 予備バッテリー、収納庫を設置すること。
- 3-3) 外部電源導入装置は、車両後部に蓋を付けて装備する。
- 3-4) 外部電源導入装置作動中はメインエンジンがかからない回路とする。
- 3-5) 走行時予備バッテリーに充電可能な自動充電器を取り付ける。

3-6) ブレーカー、切り替えスイッチ、パイロットランプを見やすくまとめて配置する。

3-7) AC100V 電源コンセント 3P2 口を 4 か所以上設備する。

3-8) AC100V 電源は、インバーター電源と外部入力電源を自動で切り替え可能な装置とする。

3-9) 外部電源導入装置のケーブルは 10m 程度とする。

3-10) DC12V 電源 USB コンセント 2.4A を 1 か所以上設備する。

#### 4) 塗装及び文字マーク関連

4-1) 外装塗装は一定の下地作業を施し、指定色塗装を実施する。

4-2) 文字、ロゴマーク、赤帯などは、大学指定のデータに準じて記載する。

4-3) 室内で塗装が必要な箇所は、ベース車両の室内塗装に準ずる。

#### 5) 救急車指定車両、患者輸送車としての装備

5-1) 車両前方の屋根上に散光式赤色警光灯を設置する。

5-2) 電子サイレンアンプを運転席ダッシュボードに組み込み取り付けする。操作時に運転手の視線移動なく、手の届く位置に配置する。アンプ出力は 50W クラスとする。

5-3) サイレンアンプには電子音声で「交差点侵入」「バック」「右折」「左折」「救急車両進行」を明示することができるようにする。

5-4) 運転席にフレキシブルマイクを装備し、運転者が容易に使用できるスイッチを設ける事。

#### 6) 附属品

6-1) 消化器

6-2) 金属製工具セット

6-3) 停止表示版

6-4) 輪止め

6-5) 運転席マット

### (3) その他

1) 諸登録・申請

2) 承認図書作成

3) 完成車輸送

4) 保守体制等

4-1) 通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。

4-2) 本学病院に 2 時間以内に到着できる範囲内で、技術サービス員を複数名有する支店もしくは代理店があること。

5) 保証期間

5-1) 納入検査確認後 1 年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じる  
こと。

6) 引き渡し時説明及び説明書（マニュアル）等

6-1) 車両の取り扱いに関する教育訓練は、本学病院職員と協議のうえ、指定する日  
時、場所で行うこと。

6-2) 操作マニュアルは、車両本体及びすべての機器について日本語版を本学が指定  
する部数提供すること。

7) その他

7-1) 納入する機器等に係る情報を、本学が指定するテンプレートに入力のうえ、当該  
機器の写真（設置場所も含む）を添えて提出すること。なお、特別な事情を除き  
納品完了後 1 週間以内に提出すること。